

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 098	提案機関名 JA かながわ西湘
要望問題名 水稲におけるカメムシ類の被害軽減における畦の除草の実施限界について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 かながわ西湘では「第2次地域農業振興計画」において、良質米の確保に向けた生産指導を掲げている。 昨年、カメムシ類により水稲の被害が多発しました。 農薬での防除についても近隣圃場の状況によってはあまり効果が目立たないうえ、畦の除草を徹底している地域での被害が多く見られました。 畦の雑草にいるカメムシ類が夏季の除草により圃場内に飛来するものと思われるため、除草の実施限界の検討をお願いいたします。 また、畦の雑草にいるカメムシ類の防除法があるかについても検討をお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部病虫害研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 水田畦畔の除草時期は出穂 10 日から 15 日前です。また、この時期の斑点米カメムシ類が好むイネ科雑草は刈り払い後3週間前後で再び出穂することから、出穂3週間前に1度草刈りし、イネ科雑草の穂を観察しながら出穂時期にもう 1 回草刈りをおこなう「2回連続草刈り」も有効だと考えられます。アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫は数日で 100m程度も移動可能ということもあり、畦畔除草は地域全体で同時におこなうことが有効です。 畦畔のイネ科雑草にいるイネ斑点米カメムシ類の登録薬剤は現在ありません。イネ斑点米カメムシ類に対しては本田の薬剤散布もしくは水田畦畔の除草が現時点で最も有効な防除対策となります。			
解決予定年限	① 年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			